

おぼ

覚えてください。

じしん

つか

地震のときに使います。



ことば 言葉	どうなりますか？	
じしん 地震	いえ こわ みち こわ はし こわ	家が壊れます。道が壊れます。橋が壊れます。
つなみ 津波	じしん はや おお なみ き くるま いえ なが	地震のすぐあと 早くても 大きな波が来ます。 車や家が流れます。
かさい 火災	いえ も ひ ひろ	家が燃えます。火が広がります。
ことば 言葉	いみ 意味	つか かた 使い方
よしん 余震	おお じしん じしん	よしん き き 余震が来ます。気をつけてください。
ゆ 揺れ	いえ みち おお うご	つよ ゆ て れ び たお 強い揺れで テレビが倒れました。
しんど 震度	ゆ おお	いま じしん しんど 今の地震の震度はいくつですか？
らっか 落下	もの お	わ がらす らっか 割れた ガラスが落下します。
とうかい 倒壊	たてもの こわ	ふる びる どうかい 古いビルが倒壊しました。
てんとう 転倒	もの たお	か く てんとう けが 家具が転倒して、ケガをしました。
ひなん 避難	あんぜん に	ひろ ひなん 広いところへ 避難してください。
たかだい 高台	やま うえ びる おくじょう	たかだい に 高台へ 逃げてください。
かいぼつ 海拔	うみ たか	ふ じ さん かいぼつ 富士山は 海拔 3,776mです。
ひもと 火の元	が す せん でんき こんせんと	ひ もと き 火の元に 気をつけてください。

しんど ゆ おお  
震度(揺れの大きさ)

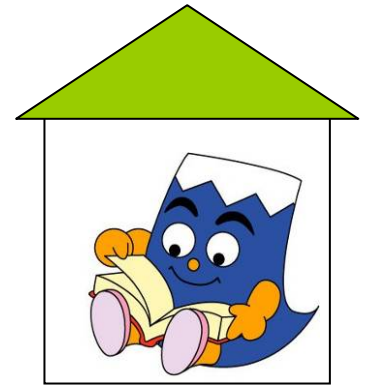


しんど ゆ おお  
震度は「揺れの大きさ」です。地震の中心(震源)では、揺れが大きいです。  
ちゆうしん はな ゆ ちい  
中心から離れると揺れは小さくなります。  
まくに ちゆうしん じしん えねるぎー おお  
マグニチュードは、「地震のエネルギーの大きさ」です。  
じしん ちゆうしん しんげん しら  
地震の中心(震源)で調べます。

よ しん 余震に き 気をつけて ひろ 広いところへ に 逃げて ください。	しんど 震度7	た みんな立っていることができません。 うご 動くことができません。 びる たお ビルが倒れます。
	しんど きょう 震度6強	た みんな立っていることができません。 うご 動くことができません。 いえ たお 家が倒れます。
	しんど じゃく 震度6弱	た みんな立っていることができません。 かく たお いえ こわ 家具が倒れます。家が壊れます。
	しんど きょう 震度5強	ある みんな歩くことができません。 かく たお 家具が倒れます。
てれび テレビや らじお ラジオを つけて ください。	しんど じゃく 震度5弱	もの みんな物につかまりたいです。 しょつきほん たな お 食器や本が棚から落ちます。
	しんど 震度4	ある ひと じしん き 歩いている人が地震に気がつきます。
	しんど 震度3	いえ なか じしん 家の中で地震がわかります。

じしん まえ  
地震の前に やりましょう

- てんとう ぼう し き ぐ  
・転倒防止器具をつけます。



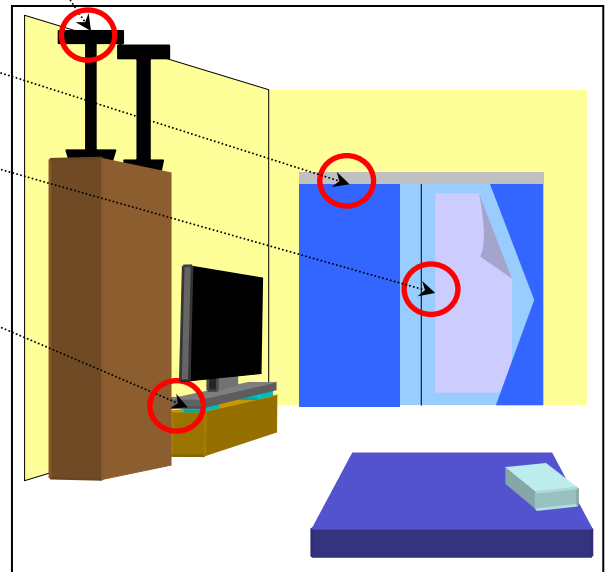
- よる かー てん し  
・夜カーテンを閉めます。

- まど ふい る む  
・窓にフィルムをはります。

- て れ び ど ご む  
・テレビにすべり止めゴムをはります。

- まど ちか ベッド お  
・窓の近くにベッドを置きません。

- ベッド ちか  
・ベッドの近くに  
おお かく お  
大きな家具を置きません。



ぼう さい くんれん か そく いっしょ き  
防災訓練に 家族と一緒に 来てください

しょう かし つか かた おし おうきゆう てあて おし た だ  
消火器の使い方を教えます。応急手当を教えます。炊き出しをします。

くんれん ひ ち いき ちが ちか ひと き  
訓練の日は地域で違います。近くの人に聞いてください。

つ なみ ひ なん くんれん うみ ちか  
3月：津波避難訓練（海の近く）

どしゃ さいがい ぼう さい くん れん やま ちか  
6月：土砂災害防災訓練（山の近く）

そうごう ぼう さい くん れん  
9月：総合防災訓練

ち いき ぼう さい くん れん いえ ちか  
12月：地域防災訓練（家の近く）



# じ しん 地震がおきたら

## ひと 人がたくさんいる 建物

すぐに 出口へ 行かないでください。  
上から 物が 落ちます。  
ガラスが 割れます。  
気をつけて ください。  
お店の 人が 話します。  
話を 聞いて ください。



## バス や 電車

手すりにつかまって ください。  
運転手が 話します。  
話を 聞いて ください。



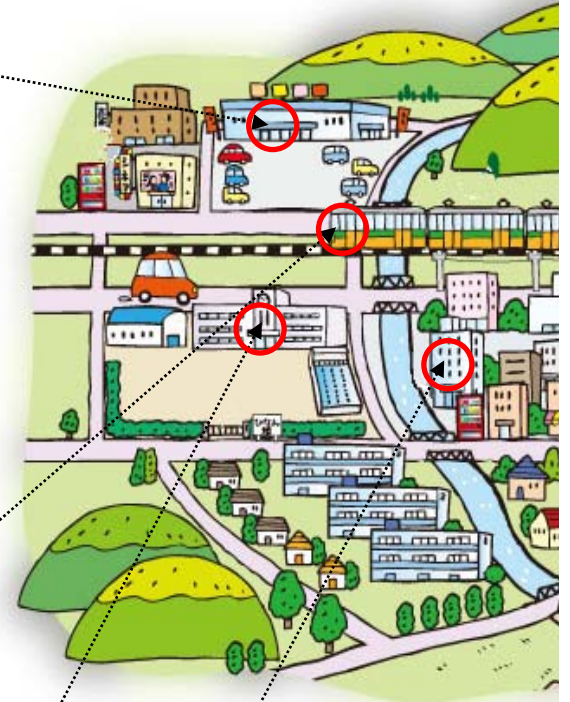
## がっこう や いえ なか 学校や家の中

机や テーブルの 下へ  
逃げて ください。  
すぐに 外へ 出ないで ください。  
まわりをよく 見て ください。



## エレベーター

ボタンを ぜんぶ 押して  
ください。  
ドアが 開いたら、すぐに  
降りて ください。  
階段で 逃げて ください。



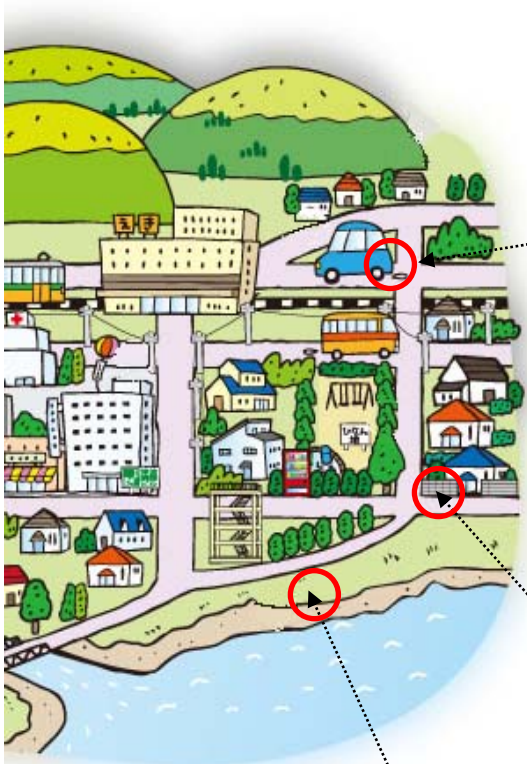
## おお じ しん 大きな地震のあと

よしん 余震(あとから来る地震)が 来ます。  
ちか 近くの 避難地に 逃げて ください。

し 知らない 場所にいるときは、  
ちか 近くの 広いところへ  
に 逃げて ください。



# どうしますか？



## くるま なか 車の中

みち ひだり くるま と  
道の左へ車を止めてください。  
えんじん と  
エンジンを止めてください。  
らじお き  
ラジオを聞いてください。  
じしん と  
地震が止まってから外に出てください。  
くるま かぎ に  
車に鍵をつけて逃げてください。



## そと 外にいるとき

へい たお  
塀が倒れます。  
ひろ  
広いところへ逃げてください。



ちか つなみ ひなん びる  
近くの津波避難ビルを  
さがしてください。  
おお じしん  
大きな地震のすぐあとに  
つなみ  
津波がきます。  
びる かい  
はやくこのビルの3階より  
上に逃げてください。



## うみ ちか 海の近く

つなみ  
津波がきます。すぐに逃げてください。  
たか たかだい  
高いところ(高台)へ逃げてください。  
とお  
できるだけ遠くへ逃げてください。  
つなみ なんがい  
津波は何回もやってきます。  
なが  
長いあいだ  
き  
気をつけてください。



よう い  
用意してください

じ しん よう い  
地震のために用意してください。  
じ しん き せい かつ こま  
地震が来たら、生活が困ります。



● 逃げるときに持つもの (非常用持出品)

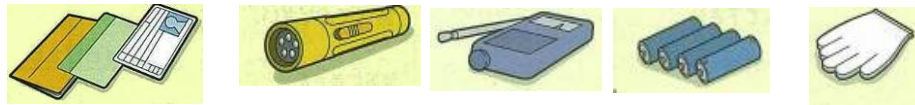
ひつよう かぞく ちが なに ひつよう かぞく はな  
必要なものは、家族で違います。何が必要か家族で話してください。  
ば す ほ - と みぶん しょうめい しょ つか くすり も  
パスポート(身分証明書)と いつも使っている薬を持って  
に  
逃げてください。



おも  
重さ

だんせい 15kg まで  
じよせい 10kg まで  
男性  
女性

パスポート  ライト  ラジオ  でんち  てぶくろ



いつも使(つか)っている薬(くすり)  ティッシュペーパー  服(ふく)・下着(したぎ)  マッチ・ライター



ナイフ  水(みず)  非常食(ひじょうしょく)  食器(しょっき)  タオル



● いつも準備しておくもの (備蓄品)

かぞく にんずう いっしゅうかんぶん なのか  
家族の人数 x 30 x 1週間分(7日)

みず (1週間分)  た もの いっしゅうかんぶん  コンロ  
水 (1週間分) 食べ物 (1週間分)



うみ ちか  
海の近くは  
つ なみ  
津波がすぐにきます。  
はや たかたかい たか  
早く高台(高いところ)へ  
に  
逃げてください。  
なに も  
何も持たないでください。

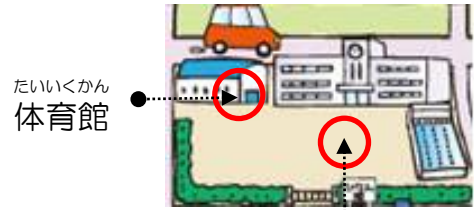
ひなんち  
避難地をさがしてください。

いえ ちか ひなんち おほ  
家の近くの避難地を覚えてください。

ひろ おお こうえん  
広いところです。大きな公園や  
がっこう ぐらうんど  
学校のグラウンドです。

ひなん じょ たてもの こうみん かん たいいく かん  
避難所は建物です。公民館や体育館です。

ひなん じょ いえ こわ ひと す  
避難所は家が壊れた人が住むところです。



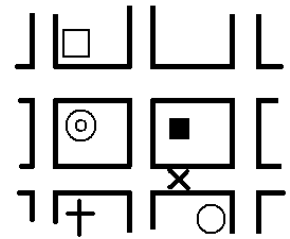
がっこう  
学校のグラウンド

ぼうさい ち す つく  
防災地図を作ってください

いえ ちか ぼうさい ち す つく おお じ しん  
家の近くの防災地図を作ってください。大きな地震のあとは、

たてもの こわ みち こわ とお  
建物が壊れます。道が壊れます。通れないところがあります。

ちか ひなんち みち しら  
近くの避難地までの道を調べてください。



いえ かいしゃ がっこう びょういん きょうかい じんじゃ てら ひなんち  
家○ 会社□ 学校■ 病院◇ 教会十 神社卍 寺卍 避難地◎

とお  
通れないところ×

おぼ

さい がい

つか

覚えてください。災害のときに使います。

ことば 言葉	どうなりますか？	
たいふう 台風	つよ あめ ぶん	つよ かぜ ぶん
こすい 洪水	かわ みず みち なが	はし こわ
ごう 豪雨	つよ あめ ぶん	みち かわ
しんすい 浸水	いえ みず はい	みち とお
どしゃくす 土砂崩れ	つち いし やま	お みち とお
ていでん 停電	でんき き	てれび
だんすい 断水	みず で	シャワー トイレ
ことば 言葉	いみ 意味	つか かた 使い方
あんび 安否	ひと だいじょうぶ	あんび かくにん
おうきゅうてあて 応急手当	けが ひと はや たす	おうきゅう てあて ひつよう
じょうびやく 常備薬	つか	くすり
みぶんしょうめいしょ 身分証明書	ば す ほ - と めんきょしょう	みぶんしょうめいしょ み

しずおか けん じしん ぼうさい せんたー い  
**静岡県 地震防災センターに行ってみましょう。**  
 じしん べんきょう  
**地震のことをもっと勉強しましょう。**  
 しずおかけん じしん ぼうさい せんたー  
**静岡県地震防災センター**  
 しずおかし あおいく こまがたどおり  
**静岡市 葵区 駒形通 5-9-1**  
**TEL 054-251-7100 FAX 054-251-7300**  
<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/e-quakes/>

監修: 清 ルミ (常葉大学教授)



静岡県くらし・環境部県民生活局 多文化共生課  
 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6  
 TEL 054-221-3316,3310 FAX 054-221-2642  
 E-Mail: tabunka@pref.shizuoka.lg.jp